

## 【報告】

特定非営利活動法人 熊本子どもの本の研究会

### ◆2019年度 開講講座

- ・日 時 4月24日(水)10時～12時
- ・会 場 熊本市立図書館 集会室
- ・参加者 24名

### ●絵本を楽しむ講座

今年度の「絵本を楽しむ講座」は、各回のテーマを基に、読み継がれてきた絵本の魅力を語り合い、絵本作家が表現する絵本の魅力を楽しみ分かち合っていきたいと思います。参加者の皆様も、テーマに関するおすすめの絵本や、ご家庭で愛読されている絵本等ご紹介ください。

第1回 6月6日

愛と冒険は成長への道標

「行って帰る」形式の本

第2回 9月4日

絵とことばの力が融合した昔話絵本の魅力

昔話絵本について

第3回 12月4日

自然の中にある色彩を感じて

写真絵本の世界が語る魅力

第4回 2020年2月5日

想像力を育む童話絵本の魅力

スペイン・オットーの作品ほか

### ●お話を楽しむ講座

お話をより楽しむための、手遊びや語り、小道具製作などを学ぶ、実践講座です。

また、耳で聴き、手を動かして楽しむ時間でもありますので、お子さま連れでもご参加ください。

第1回 5月15日

おはなし会で楽しむ小道具の製作と実演

第2回 7月10日

語りと耳で楽しむお話について

語り「きしむドア」「やっちまったことはやっちまったこと」「黒いお姫さま」

第3回 10月2日

語りとおはなし会で楽しむわらべうたと手遊び

語り「ぼんさらや」「鬼の木」

第4回 2020年1月15日

語りと赤ちゃん向けのおはなし会について

語り「鬼火」「おむこさんの買い物」

### ●物語を楽しむ講座

本は、私たちが知らない世界へと誘い、様々な考え方や言葉の美しさを提示し、感動をもたらしめます。そして、互いの所感を語り合うことで、考えに深みが増し、現実を見つめる視点が少し変化します。この講座は、前半、課題本について考え、後半はお薦め本の紹介です。子どもの頃との出会いを楽しみましょう。

第1回 6月26日

今村葦子作品を読む

『ひとりたりない』から『ゆきのよあけ』へ

課題本 『ひとりたりない』(理論社)

『ゆきのよあけ』(童心社)

第2回 9月25日

古典と近代の冒険ファンタジーを比較する

課題本 『ブリテイン物語 1角の王』

ロイド・アリグサンダー／作

神宮輝夫／訳 (評論社)

『ローワンと魔法の地図』

エミリー・ロッダ／作

さくまゆみこ／訳 (あすなろ書房)

第3回 11月27日

マザーグース第3弾

ローラがロずさんだマザーグース

課題本 『大草原の小さな家』

ローラ・インガルス・ワイルダー／作

地三保子／訳 (福音館書店)

恩

第4回 2020年1月22日

ファンタジー的なSF的な児童文学。

リアルでありながら不思議な世界

課題本 『シロガラス』シリーズ

佐藤多佳子／作 (偕成社)

### ●子どもと共に「わらべうた」をたのしみ「おはなし・絵本」の世界へ誘う

子どもと共に「わらべうた」を楽しみ「おはなし・絵本」の世界へ誘う(全4回)を実施します。わらべうたをたっぷり楽しんだ後、絵本、語りの時間もあります。

- ・講師 廣渡 しずの さん  
(日本コダーイ協会会員)
- ・会場 くまもと県民交流館パレア…  
6月23日・9月1日  
2020年1月26日(予定)  
熊本市国際交流会館 … 11月24日(予定)
- ・対象 未就学児～大人

※申し込みが必要です。詳しくはリーフレット、ホームページを御覧ください。

## ●おはなしボランティア「びわの木」

おはなしボランティア「びわの木」は市内の支援学校三校と県立、市立図書館にて活動しています。(それぞれ4～5回) ただいまメンバーは 3 人です。定期的な活動の他に、市内外よりお話会の依頼も年に2～3回ほど受けております。講座で学んだことを基本に、メンバーは試行錯誤しながらプログラムを組み、子どもたちに絵本やわらべうたを届けていこうと頑張っています。今年度は、ボランティア報告書の記録等も参考にし、互いに実演をしながら、勉強していく予定です。

## ■講話 「本はともだち！」

理事長 横田 真

昨年度から会報に「本はともだち！」と題して、自分の読書体験を書かせていただいている。良い機会をいただき感謝している。平日は会社員として東京で働いている私にとって、この会に参加するというのは、日頃と違う世界、非日常の世界に接するという。これが日頃の生活にとっても一つの糧になっているように感じている。

私にとって、本は楽しむために読むもの。小学生の時『ドリトル先生』や『ナルニア国ものがたり』などをむさぼり読んだことから、本を楽しむ習慣を持てるようになった。今年でも1年間でだいたい五十冊ほど読む。(この1年間に読んだ五十二冊を紹介)

### 本の選択

新聞の書籍紹介欄、現在読んでいる本での紹介、定期的に本屋で本棚をながめて。

### 本の調達

図書館で借りるのが中心。人気新刊本は本屋で購入。実家又は自宅の本棚。

### 読む時間

休日自宅で寝転がって読むのが至福の時。出張、帰省の移動時間。

### 読み方

人気の本でも20ページ読んで面白くなければ読むのを止める。本から新しく学ぼうと構えない。共感できるかどうかを大事。自分が日頃から感じていることが言語化されていることを楽しむ感じ。読書の時間を楽しむことが目的なので、感想文など負担になることは特にしていない。読了した事実だけ記録。書きたいことがあれば、日記に書くか、「本はともだち！」で紹介させていただく。

\*

「図書館でリーフレットを見て、興味があってきました」と言われる男性ほか3名の新しい方の参加もあり、2019年度の開講講座が始まりました。お話や語り、「わらべうた」の実演などを交えた紹介など、それぞれの講座担当者の熱い思いが伝わり、始まる前からわくわくしています。また天草、大牟田などの遠路から参加された方々の講座に対する期待も見取ることが出来ました。子どもに本を手渡すためには、まず私たち大人が楽しみましょう。今年度も、盛りだくさんの楽しい講座内容です。多くの方の参加をお待ちします。